第一号様式（第二条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

認　　定　　申　　請　　書

（新　築　／　増　築・改　築）

年　　月　　日

　　　所管行政庁　　　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の住所又は主たる事務所の所在地 |  |
| 申請者の氏名又は名称 |  |
| 代表者の氏名 |  |

第１項

長期優良住宅の普及の促進に関する法律第５条 第２項　の規定に基づき、長期優良住宅建築

　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 第３項

等計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受　付　欄 | 認　定　番　号　欄 | 決　裁　欄 |
| 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。

２．法第５条第２項の規定に基づく申請にあっては、一戸建て住宅等分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。

３．申請者（法第５条第２項に基づく申請にあっては、一戸建て住宅等分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

４．共同住宅等に係る申請にあっては、第三面を申請に係る住戸（認定を求める住戸）ごとに作成してください。

（第二面）

長　期　優　良　住　宅　建　築　等　計　画

１．建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項

　〔建築物に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．地名地番】 |
| 【２．敷地面積】　　　　　　　　　㎡ |
| 【３．工事種別】　□新築　　□増築・改築 |
| 【４．建築面積】　　　　　　　　　㎡ |
| 【５．床面積の合計】　　　　　　　㎡ |
| 【６．建て方】　□一戸建ての住宅　　□共同住宅等　　【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】　　　階　　　㎡　　　　階　　　㎡　　　【共同住宅等の場合：住戸の数】　建築物全体　　　　　　　　　　戸　　　　　　　　　　　　　　　　　　認定申請対象住戸　　　　　　　戸 |
| 【７．建築物の高さ等】　　【最高の高さ】　　【最高の軒の高さ】　　【階数】　（地上）　　　　階　(地下)　　　　　階 |
| 【８．構造】　　　　　　　造　　一部　　　　　　　造 |
| 【９．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】　　　 |
| 【10．確認の特例】　　法第６条第２項の規定による申出の有無　　□無　　□有 |
| 【11. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成11年法律第81号）第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書（住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則（平成12年建設省令第20号）第７条の４第１項第１号に規定する別記第11号の４様式）若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しの添付の有無　　□無　　□有 |

（注意）

１．【６．建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「」マークを入れてください。

２．【９．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】の欄について、【11. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄で「無」に「🗸」マークを入れた場合においては、設計内容説明書を提出してください。

３．【10．確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和２５年法律第２０１号）第６条第１項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「」マークを入れてください。

４．【11. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄は、住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しを添付して申請する場合においては「有」に、添付しないで申請する場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

５．この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第三面）

〔申請に係る住戸に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．住戸の番号】 |
| 【２．住戸の存する階】　　　　　　　　階 |
| 【３．専用部分の床面積】　　　　　　　㎡ |
| 【４．当該住戸への経路】　　【共用階段】　　　□無　　□有　　【共用廊下】　　　□無　　□有　　【エレベーター】　□無　　□有 |

（注意）

１．この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。

２．住戸の階数が二以上である場合には、【３．専用部分の床面積】に各階の床面積を併せて記載してください。

３．【４．当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「」マークを入れてください。

４．この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第四面：法第５条第１項又は第２項の規定に基づく申請の場合）

２．建築後の住宅の維持保全の方法及び期間

|  |
| --- |
|  |

３．住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

①　建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

②　維持保全に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

４．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

（注意）

１．３①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。

２．３②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積立予定額を記載してください。

３．共同住宅等に係る申請である場合でも、３①及び②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。

４．この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第四面：法第５条第３項の規定に基づく申請の場合）

２．建築後の住宅の維持保全の方法の概要

|  |
| --- |
|  |

３．住宅の建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

４．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

５．譲受人の決定の予定時期　　　　　年　　　月

（注意）

１．３欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。また、共同住宅等に係る申請である場合でも、一棟に係る費用を記載してください。

２．この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

第一号の二様式（第二条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

認　　定　　申　　請　　書

（新　築　／　増　築・改　築　）

年　　月　　日

　　所管行政庁　　　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の住所又は主たる事務所の所在地 |  |
| 申請者の氏名又は名称 |  |
| 代表者の氏名 |  |



第４項

第５項

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第５条　　　　　の規定に基づき、長期優良住宅建築等計

画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付欄 | 認定番号欄 | 決裁欄 |
| 　　　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。

２．申請者（法第５条第４項に基づく申請にあっては、区分所有住宅分譲事業者、同条第５項に基づく申請にあっては区分所有住宅の管理者等）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

３．第三面を申請に係る住戸（認定を求める住戸）ごとに作成してください。

（第二面）

長　期　優　良　住　宅　建　築　等　計　画

１．建築をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項

　〔建築物に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．地名地番】 |
| 【２．敷地面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【３．工事種別】　□新築　　□増築・改築 |
| 【４．建築面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【５．床面積の合計】　　　　　　㎡ |
| 【６．建て方】　　【住戸の数】　建築物全体　　　　　　　　　　戸　　　　認定申請対象住戸　　　　　　　戸　　　　　　　　　　　　　 |
| 【７．建築物の高さ等】　　【最高の高さ】　　【最高の軒の高さ】　　【階数】　（地上）　　　　　階　 (地下)　　　　　 階 |
| 【８．構造】　　　　　　　　造　　一部　　　　　　　 造 |
| 【９．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】　　　 |
| 【10．確認の特例】　　法第６条第２項の規定による申出の有無　　□無　　□有 |
| 【11．住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成11年法律第81号）第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書（住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則（平成12年建設省令第20号）第７条の４第１項第１号に規定する別記第11号の４様式）若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しの添付の有無　　□無　　□有 |
| 【12．マンションの管理の適正化の推進に関する法律第５条の８に規定する認定管理計画の有無】　　□無　□有　　 |

（注意）

１．【６．建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

２．【９．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】の欄について、【11. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄で「無」に「🗸」マークを入れた場合においては、設計内容説明書を提出してください。

３．【10．確認の特例】の欄は、認定の申請に併せて建築基準法（昭和25年法律第201号）第６条第１項の規定による確認申請書を提出して適合審査を受けるよう申し出る場合においては「有」に、申し出ない場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

４．【11. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄は、住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しを添付して申請する場合においては「有」に、添付しないで申請する場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

５．【12．マンションの管理の適正化の推進に関する法律第５条の８に規定する認定管理計画の有無】の欄は、マンション管理の適正化の推進に関する法律施行規則（平成13年国土交通省令第110号）第１条の６に規定する通知書及びマンションの管理の適正化の推進に関する法律（平成12年法律第149号）第５条の８に規定する認定管理計画又はこれらの写しを添付して申請する場合においては「有」に、添付しないで申請する場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

６．この面は、建築確認等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第三面）

〔申請に係る建築物の住戸に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．住戸の番号】 |
| 【２．住戸の存する階】　　　　　　　　階 |
| 【３．専用部分の床面積】　　　　　　　㎡ |
| 【４．当該住戸への経路】　　【共用階段】　　　□無　　□有　　【共用廊下】　　　□無　　□有　　【エレベーター】　□無　　□有 |

（注意）

１．住戸の階数が二以上である場合には、【３．専用部分の床面積】に各階ごとの床面積を併せて記載してください。

２．【４．当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

３．この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第四面：法第５条第４項の規定に基づく申請の場合）

２．建築後の住宅の維持保全の方法の概要

|  |
| --- |
|  |

３．住宅の建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

４．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

５．区分所有住宅の管理者等の決定の予定時期　　　　　年　　　月

（注意）

１．３欄には、一棟の建築に要する費用の概算額を記載してください。

２．この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第四面：法第５条第５項の規定に基づく申請の場合）

２．建築後の住宅の維持保全の方法及び期間

|  |
| --- |
|  |

（注意）

　　本欄には、区分所有住宅の管理者等が建築後の住宅の維持保全を管理会社と共同して行う

場合には、当該管理会社の名称についても記載してください。

３．住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

①　建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

②　維持保全に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

４．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

（注意）

１．３①欄には、一棟の建築に要する費用の概算額を記載してください。

２．３②欄には、一棟の住宅の修繕に要する費用の年間積立予定額を記載してください。

３．この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

第一号の三様式（第二条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

認　　定　　申　　請　　書

（既　存）

年　　月　　日

　　所管行政庁　　　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の住所又は主たる事務所の所在地 |  |
| 申請者の氏名又は名称 |  |
| 代表者の氏名 |  |



第６項

第７項

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第５条　　　　　 の規定に基づき、長期優良住宅維持保全計画について認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付欄 | 認定番号欄 | 決裁欄 |
| 　　　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「既存」とは、本申請が、法第５条第６項又は第７項の規定による認定の申請に係るものであることを指します。また、「一戸建ての住宅」は、人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限り、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅以外の住宅をいいます。

２．申請者（法第５条第６項に基づく申請にあっては、住宅（区分所有住宅を除く。）の所有者等、同条第７項に基づく申請にあっては区分所有住宅の管理者等）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

３．共同住宅等に係る申請にあっては、第三面を申請に係る住戸（認定を求める住戸）ごとに作成してください。

（第二面）

長　期　優　良　住　宅　維　持　保　全　計　画

１．維持保全をしようとする住宅の位置、構造及び設備並びに規模に関する事項

　〔建築物に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．地名地番】 |
| 【２．敷地面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【３．建築面積】　　　　　　　　㎡ |
| 【４．床面積の合計】　　　　　　㎡ |
| 【５．建て方】　□一戸建ての住宅　　□共同住宅等【一戸建ての住宅の場合：各階の床面積】　　　階　　　㎡　　　　階　　　㎡　 【共同住宅等の場合：住戸の数】　建築物全体　　　　　　　　　　戸　　　　　　　　　　　　　認定申請対象住戸　　　　　　　戸　　 |
| 【６．建築物の高さ等】　　【最高の高さ】　　【最高の軒の高さ】　　【階数】　（地上）　　　　　階　 (地下)　　　　　 階 |
| 【７．構造】　　　　　　　　造　　一部　　　　　　　 造 |
| 【８．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】 |
| 【９．新築又は増築・改築の時期】【新築の時期】　　　　　　　　　　　　年　　　月　　　日【増築・改築の時期】　　　　　　　　　年　　　月　　　日 |
| 【10. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】住宅の品質確保の促進等に関する法律（平成11年法律第81号）第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書（住宅の品質確保の促進等に関する法律施行規則（平成12年建設省令第20号）第７条の４第１項第１号に規定する別記第11号の４様式）若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しの添付の有無　　□無　　□有 |
| 【11．マンションの管理の適正化の推進に関する法律第５条の８に規定する認定管理計画の有無】　　□無　□有　　 |

（注意）

１．【５．建て方】の欄は、該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

２．【８．長期使用構造等に係る構造及び設備の概要】の欄について、【10. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄で「無」に「🗸」マークを入れた場合においては、設計内容説明書を提出してください。

３．【10. 住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第５項の適用の有無】の欄は、住宅の品質確保の促進等に関する法律第６条の２第３項又は第４項の規定により、その住宅の構造及び設備が長期使用構造等である旨が記載された確認書若しくは住宅性能評価書又はこれらの写しを添付して申請する場合においては「有」に、添付しないで申請する場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

４．【11．マンションの管理の適正化の推進に関する法律第５条の８に規定する認定管理計画の有無】の欄は、マンションの管理の適正化の推進に関する法律施行規則（平成13年国土交通省令第110号）第１条の６に規定する通知書及びマンションの管理の適正化の推進に関する法律（平成12年法律第149号）第５条の８に規定する認定管理計画又はこれらの写しを添付して申請する場合においては「有」に、添付しないで申請する場合においては「無」に「🗸」マークを入れてください。

（第三面）

〔申請に係る建築物の住戸に関する事項〕

|  |
| --- |
| 【１．住戸の番号】 |
| 【２．住戸の存する階】　　　　　　　　階 |
| 【３．専用部分の床面積】　　　　　　　㎡ |
| 【４．当該住戸への経路】　　【共用階段】　　　□無　　□有　　【共用廊下】　　　□無　　□有　　【エレベーター】　□無　　□有 |

（注意）

１．この面は、共同住宅等に係る申請の場合に作成してください。

２．住戸の階数が二以上である場合には、【３．専用部分の床面積】に各階の床面積を併せて記載してください。

３．【４．当該住戸への経路】の欄は該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

４．この面は、住宅性能表示等他の制度の申請書の写しに必要事項を補うこと、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

（第四面）

２．認定後の住宅の維持保全の方法及び期間

|  |
| --- |
|  |

３．認定後の住宅の維持保全に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

（注意）

１．３欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積立予定額を記載してください。また、共同住宅等に係る申請である場合でも、一棟に係る費用を記載してください。

２．この面は、複数の住戸に関する情報を集約して記載すること等により記載すべき事項の全てが明示された別の書面をもって代えることができます。

第三号様式（第八条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

変　更　認　定　申　請　書

（新　築　／　増　築・改　築 ／ 既　存）

年　　月　　日

　　　所管行政庁　　　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の住所又は主たる事務所の所在地 |  |
| 申請者の氏名又は名称 |  |
| 代表者の氏名 |  |

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第８条第１項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画等の変更の認定を申請します。この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

１．長期優良住宅建築等計画等の認定番号

第　　　　　　　　号

２．長期優良住宅建築等計画等の認定年月日

　年　　　月　　　日

３．認定に係る住宅の位置

４．認定に係る住宅が共同住宅等である場合は、区分所有住宅の該当の有無

５．法第５条第１項から第５項までの認定の申請により当初認定を受けた場合は、当初認定時の

工事種別

６．法第５条第６項又は第７項の規定による認定の申請により当初認定を受けた場合は、新築又は

当初認定を受ける前にした増築・改築の時期

７．変更の概要

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受　付　欄 | 認　定　番　号　欄 | 決　裁　欄 |
| 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「既存」とは、本申請が、法第５条第６項又は第７項の規定による認定の申請に係るものであることを指します。

２．法第５条第２項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は、一戸建て住宅等分譲事業者及び譲受人の両者の氏名又は名称を記載してください。

３．申請者（法第５条第２項の規定に基づく申請により認定を受けた場合は一戸建て住宅等分譲事業者又は譲受人）が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

４．５欄は、住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部改正をする法律（令和３年法律第48号）による改正前の法第５条第１項から第３項までの規定による認定の申請により当初認定を受けた場合も記載してください。

第五号様式（第十一条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

変　更　認　定　申　請　書

（新　築　／　増　築・改　築 ）

年　　月　　日

　　　所管行政庁　　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 分譲事業者 | 住所又は主たる事務所の所在地 |  |
|  | 申請者の氏名又は名称 |  |
|  | 代表者の氏名 |  |

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 譲　受　人 | 住所又は主たる事務所の所在地 |  |
|  | 氏名又は名称 |  |
|  | 代表者の氏名 |  |

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第９条第１項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画の変更の認定を申請します。この申請書に記載の事項は、事実に相違ありません。

１．長期優良住宅建築等計画の認定番号

第　　　　　　　　号

２．長期優良住宅建築等計画の認定年月日

　年　　　月　　　日

３．認定に係る住宅の位置

４．当初認定時の工事種別

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受　付　欄 | 認　定　番　号　欄 | 決　裁　欄 |
| 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「共同住宅等」とは、共同住宅、長屋その他の一戸建ての住宅（人の居住の用以外の用途に供する部分を有しないものに限ります。）以外の住宅をいいます。

２．一戸建て住宅等分譲事業者又は譲受人が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

３．共同住宅等に係る申請にあたっては、第一面を申請に係る住戸ごとに作成し、第二面については、同時に申請する申請書のうちいずれかの申請書について作成し、他の申請書についてはこの面の作成を省略することができます。

（第二面）

１．建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間

|  |
| --- |
|  |

２．住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

①　建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

②　維持保全に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

３．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

（注意）

１．２①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。

２．２②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。

３．共同住宅等に係る申請である場合でも、２①及び②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。

第六号様式（第十三条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

（第一面）

変　更　認　定　申　請　書

（新　築　／　増　築・改　築 ／ 既　存）

年　　月　　日

　　　所管行政庁　　　殿

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 区分所有住宅分譲事業者 | 住所又は主たる事務所の所在地 |  |
|  | 申請者の氏名又は名称 |  |
|  | 代表者の氏名 |  |
| 区分所有住宅の管理者等 | 住所又は主たる事務所の所在地 |  |
|  | 氏名又は名称 |  |
|  | 代表者の氏名 |  |

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第９条第３項の規定に基づき、長期優良住宅建築等計画等の変更の認定を申請します。この申請書に記載の事項は、事実に相違ありません。

１．長期優良住宅建築等計画等の認定番号

第　　　　　　　号

２．長期優良住宅建築等計画等の認定年月日

　年　　　月　　　日

３．認定に係る住宅の位置

４．当初認定時の工事種別

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受付欄 | 認定番号欄 | 決裁欄 |
| 　　　　年　　月　　日 | 　　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

区分所有住宅分譲事業者又は区分所有住宅の管理者等が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

（第二面）

１．建築後の長期優良住宅の維持保全の方法及び期間

|  |
| --- |
|  |

（注意）

　本欄には、区分所有住宅の管理者等が建築後の住宅の維持保全を管理会社と共同して行う

場合には、当該管理会社の名称についても記載ください。

２．住宅の建築及び維持保全に係る資金計画

①　建築に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

②　維持保全に係る資金計画

|  |
| --- |
|  |

（注意）

１．①欄には、建築に要する費用の概算額を記載してください。

２．②欄には、住宅の修繕に要する費用の年間積み立て予定額を記載してください。

３．①、②欄とも、一棟に係る費用を記載してください。

３．住宅の建築の実施時期

|  |
| --- |
| 〔建築に関する工事の着手の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |
| 〔建築に関する工事の完了の予定年月日〕　　　　　年　　　　　月　　　　　日 |

第七号様式（第十四条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

承　　認　　申　　請　　書

（新　築　／　増　築・改　築 ／ 既　存）

年　　月　　日

　　　所管行政庁　　　殿

|  |  |
| --- | --- |
| 申請者の住所又は主たる事務所の所在地 |  |
| 申請者の氏名又は名称 |  |
| 代表者の氏名 |  |

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第１０条の規定に基づき、認定計画実施者の地位の承継について承認を申請します。この申請書及び添付書類に記載の事項は、事実に相違ありません。

１．長期優良住宅建築等計画等の認定番号

第　　　　　　　　号

２．長期優良住宅建築等計画等の認定年月日

　年　　　月　　　日

３．認定に係る住宅の位置

４．当初認定時の工事種別

５．申請時における認定計画実施者の氏名

６．地位の承継が生じた原因

（本欄には記入しないでください。）

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 受　付　欄 | 認　定　番　号　欄 | 決　裁　欄 |
| 　　　年　　月　　日 | 　　　年　　月　　日 |  |
| 第　　　　　　　　号 | 第　　　　　　　　号 |
| 係員氏名 | 係員氏名 |

（注意）

１．この様式において、「既存」とは、本申請が、法第５条第６項又は第７項の規定による

認定の申請に係るものであることを指します。

２．申請者が法人である場合には、代表者の氏名を併せて記載してください。

３．４欄は、法第５条第１項から第５項までの規定による認定の申請により当初認定を受けた場合に記載してください。また、住宅の質の向上及び円滑な取引環境の整備のための長期優良住宅の普及の促進に関する法律等の一部を改正する法律（令和３年法律第48号）による改正前の法第５条第１項から第３項までの規定による認定の申請により当初認定を受けた場合も記載してください。

第九号様式（第十八条関係）（日本産業規格Ａ列４番）

許可申請書

（第一面）

　長期優良住宅の普及の促進に関する法律第18条第１項の規定による許可を申請します。

この申請書及び添付図書に記載の事項は、事実に相違ありません。

　特定行政庁　　　殿

　　年　　月　　日

申請者氏名

【１．申請者】

　【イ．氏名のフリガナ】

　【ロ．氏名】

　【ハ．郵便番号】

　【ニ．住所】

　【ホ．電話番号】

【２．設計者】

【イ．資格】　　　　　 （　　　）建築士　　　（　　　　　　）登録第　　　　号

【ロ．氏名】

【ハ．建築士事務所名】 （　　　）建築士事務所（　　　　）知事登録第　　　　号

【ニ．郵便番号】

【ホ．所在地】

【ヘ．電話番号】

|  |
| --- |
| ※手数料欄 |
| ※受付欄 | ※消防関係　 同意欄 | ※建築審査会　 同意欄 | ※決裁欄 | ※許可番号欄 |
| 年　月　日 |  |  |  | 年　月　日 |
| 第　　　　　号 |  | 第 　　　　　号 |
| 係員氏名 |  | 係員氏名 |
|  |

（第二面）

建築物及びその敷地に関する事項

【１．地名地番】

【２．住居表示】

【３．防火地域】　□防火地域　　　　　　□準防火地域　　　　　　□指定なし

【４．その他の区域、地域、地区又は街区】

【５．道路】

　【イ．幅員】

　【ロ．敷地と接している部分の長さ】

【６．敷地面積】

　【イ．敷地面積】

⑴（　　　　）（　　　　）（　　　　）（　　　　）

⑵（　　　　）（　　　　）（　　　　）（　　　　）

　【ロ．用途地域等】

（　　　　）（　　　　）（　　　　）（　　　　）

　【ハ．建築基準法第52条第１項及び第２項の規定による建築物の容積率】

（　　　　）（　　　　）（　　　　）（　　　　）

　【ニ．建築基準法第53条第１項の規定による建築物の建蔽率】

（　　　　）（　　　　）（　　　　）（　　　　）

　【ホ．敷地面積の合計】

⑴

⑵

　【ヘ．敷地に建築可能な延べ面積を敷地面積で除した数値】

　【ト．敷地に建築可能な建築面積を敷地面積で除した数値】

　【チ．備考】

【７．主要用途】

　（区分　　　　　　　　）

【８．工事種別】　□新築　□増築　□改築

【９．建築面積】　　　　　　　（申請部分　　　）（申請以外の部分）（合計　　　　　）

【イ．建築物全体】　　　　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

　【ロ．建蔽率の算定の基礎となる建築面積】

　　　　　　　　　　　　　　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

　【ハ．建蔽率】

【10．延べ面積】　　　　　　　（申請部分　　　）（申請以外の部分）（合計　　　　　）

【イ．建築物全体】　　　　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ロ．地階の住宅又は老人ホーム等の部分】

（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ハ．エレベーターの昇降路の部分】

（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ニ．共同住宅又は老人ホーム等の共用の廊下等の部分】

（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ホ．認定機械室等の部分】 （　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【へ．自動車車庫等の部分】　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ト．備蓄倉庫の部分】　　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【チ．蓄電池の設置部分】　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【リ．自家発電設備の設置部分】

（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ヌ．貯水槽の設置部分】　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ル．宅配ボックスの設置部分】

（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ヲ．その他の不算入部分】 （　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ワ．住宅の部分】　　　　　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【カ．老人ホーム等の部分】　（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）

【ヨ．延べ面積】

【タ．容積率】

【11．建築物の数】

　【イ．申請に係る建築物の数】

　【ロ．同一敷地内の他の建築物の数】

【12．工事着手予定年月日】　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

【13．工事完了予定年月日】　　　　　　　　年　　　　月　　　　日

【14．その他必要な事項】

【15．備考】

（第三面）

建築物別概要

【１．番号】

【２．工事種別】　□新築　□増築　□改築

【３．構造】　　　　　　　　造　　　一部　　　　　　　造

【４．高さ】

　【イ．最高の高さ】

　【ロ．最高の軒の高さ】

【５．用途別床面積】

（用途の区分）（具体的な用途の名称）（申請部分　　　）（申請以外の部分）（合計　　　　）

（　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　）

（　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　）

（　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　）

（　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　）

（　　　　　）（　　　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　　）（　　　　　　）

【６．その他必要な事項】

【７．備考】

（注意）

１．各面共通関係

数字は算用数字を、単位はメートル法を用いてください。

２．第一面関係

①　申請者が２以上のときは、１欄は代表となる申請者について記入し、別紙に他の申請者についてそれぞれ必要な事項を記入して添えてください。

②　２欄は、設計者が建築士事務所に属しているときは、その名称を書き、建築士事務所に属していないときは、所在地は設計者の住所を書いてください。

③　設計者が２以上のときは、２欄は代表となる設計者について記入し、別紙に他の設計者について棟別に必要な事項を記入して添えてください。

④　※印のある欄は記入しないでください。

３．第二面関係

①　住居表示が定まっているときは、２欄に記入してください。

②　３欄は、該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。なお、建築物の敷地が防火地域、準防火地域又は指定のない区域のうち２以上の地域又は区域にわたるときは、それぞれの地域又は区域について記入してください。

③　４欄は、建築物の敷地が存する３欄に掲げる地域以外の区域、地域、地区又は街区を記入してください。なお、建築物の敷地が２以上の区域、地域、地区又は街区にわたる場合は、それぞれの区域、地域、地区又は街区を記入してください。

④　５欄は、建築物の敷地が２メートル以上接している道路のうち最も幅員の大きなものについて記入してください。

⑤　６欄の「イ」（１）は、建築物の敷地が、２以上の用途地域、高層住居誘導地区、居住環境向上用途誘導地区若しくは特定用途誘導地区、建築基準法（昭和25年法律201号）第52条第１項第１号から第８号までに規定する容積率の異なる地域、地区若しくは区域又は同法第53条第１項第１号から第６号までに規定する建蔽率若しくは高層住居誘導地区に関する都市計画において定められた建築物の建蔽率の最高限度の異なる地域、地区若しくは区域（以下「用途地域が異なる地域等」という。）にわたる場合においては、用途地域が異なる地域等ごとに、それぞれの用途地域が異なる地域等に対応する敷地の面積を記入してください。「イ」（２）は、同法第52条第12項の規定を適用する場合において、同条第13項の規定に基づき、「イ」（１）で記入した敷地面積に対応する敷地の部分について、建築物の敷地のうち前面道路と壁面線又は壁面の位置の制限として定められた限度の線との間の部分を除いた敷地の面積を記入してください。

⑥　６欄の「ロ」、「ハ」及び「ニ」は、「イ」に記入した敷地面積に対応する敷地の部分について、それぞれ記入してください。

⑦　６欄の「ホ」（１）は、「イ」（１）の合計とし、「ホ」（２）は、「イ」（２）の合計とします。

⑧　建築物の敷地が、建築基準法第52条第７項若しくは第９項に該当する場合又は同条第８項若しくは第12項の規定が適用される場合においては、６欄の「ヘ」に、同条第７項若しくは第９項の規定に基づき定められる当該建築物の容積率又は同条第８項若しくは第12項の規定が適用される場合における当該建築物の容積率を記入してください。

⑨　建築物の敷地について、建築基準法第57条の２第４項の規定により現に特例容積率の限度が公告されているときは、６欄の「チ」にその旨及び当該特例容積率の限度を記入してください。

⑩　建築物の敷地が建築基準法第53条第２項若しくは同法第57条の５第２項に該当する場合又は建築物が同法第53条第３項、第６項、第７項若しくは第８項に該当する場合においては、６欄の「ト」に、同条第２項、第３項、第６項、第７項又は第８項の規定に基づき定められる当該建築物の建蔽率を記入してください。

⑪　７欄は、建築基準法施行規則（昭和25年建設省令第40号）別紙の表の用途の区分に従い対応する記号を記入した上で、主要用途をできるだけ具体的に書いてください。

⑫　８欄は、該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

⑬　９欄の「ロ」は、建築物に建築基準法施行令第２条第１項第２号に規定する特例軒等を設ける場合において、当該特例軒等のうち当該建築物の外壁又はこれに代わる柱の中心線から突き出た距離が水平距離１メートル以上５メートル未満のものにあっては当該中心線で囲まれた部分の水平投影面積を、当該中心線から突き出た距離が水平距離５メートル以上のものにあっては当該特例軒等の端から同号に規定する国土交通大臣が定める距離後退した線で囲まれた部分の水平投影面積を記入してください。その他の建築物である場合においては、９欄の「イ」と同じ面積を記入してください。

⑭　10欄の「ロ」に建築物の地階でその天井が地盤面からの高さ１メートル以下にあるものの住宅又は老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの用途に供する部分、「ハ」にエレベーターの昇降路の部分、「ニ」に共同住宅又は老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの共用の廊下又は階段の用に供する部分、「ホ」に住宅又は老人ホーム等に設ける機械室その他これに類する建築物の部分（建築基準法施行規則第10条の４の４に規定する建築設備を設置するためのものであって、同規則第10条の４の５各号に掲げる基準に適合するものに限る。）で、特定行政庁が交通上、安全上、防火上及び衛生上支障がないと認めるもの、「ヘ」に自動車車庫その他の専ら自動車又は自転車の停留又は駐車のための施設（誘導車路、操車場所及び乗降場を含む。）の用途に供する部分、「ト」に専ら防災のために設ける備蓄倉庫の用途に供する部分、「チ」に蓄電池（床に据え付けるものに限る。）を設ける部分、「リ」に自家発電設備を設ける部分、「ヌ」に貯水槽を設ける部分、「ル」に宅配ボックス（配達された物品（荷受人が不在その他の事由により受け取ることができないものに限る。）の一時保管のための荷受箱をいう。）を設ける部分、「ワ」に住宅の用途に供する部分、「カ」に老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの用途に供する部分のそれぞれの床面積を記入してください。また、建築基準法令以外の法令の規定により、容積率の算定の基礎となる延べ面積に算入しない部分を有する場合においては、「ヲ」に当該部分の床面積を記入してください。

⑮　住宅又は老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものについては、10欄の「ロ」の床面積は、その地階の住宅又は老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの用途に供する部分の床面積から、その地階のエレベーターの昇降路の部分又は共同住宅若しくは老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの共用の廊下若しくは階段の用に供する部分の床面積を除いた面積とします。

⑯　10欄の「ヨ」の延べ面積及び「タ」の容積率の算定の基礎となる延べ面積は、各階の床面積の合計から「ロ」に記入した床面積（この面積が敷地内の建築物の住宅及び老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの用途に供する部分（エレベーターの昇降路の部分又は共同住宅若しくは老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの共用の廊下若しくは階段の用に供する部分を除く。）の床面積の合計の３分の１を超える場合においては、敷地内の建築物の住宅及び老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの用途に供する部分（エレベーターの昇降路の部分又は共同住宅若しくは老人ホーム、福祉ホームその他これらに類するものの共用の廊下若しくは階段の用に供する部分を除く。）の床面積の合計の３分の１の面積）、「ハ」から「ホ」までに記入した床面積、「ヘ」から「ル」までに記入した床面積（これらの面積が、次の（１）から（６）までに掲げる建築物の部分の区分に応じ、敷地内の建築物の各階の床面積の合計にそれぞれ（１）から（６）までに定める割合を乗じて得た面積を超える場合においては、敷地内の建築物の各階の床面積の合計にそれぞれ（１）から（６）までに定める割合を乗じて得た面積）及び「ヲ」に記入した床面積を除いた面積とします。また、建築基準法第52条第12項の規定を適用する場合においては、「タ」の容積率の算定の基礎となる敷地面積は、６欄「ホ」（２）によることとします。

（１）　自動車車庫等の部分　５分の１

（２）　備蓄倉庫の部分　５０分の１

（３）　蓄電池の設置部分　５０分の１

（４）　自家発電設備の設置部分　１００分の１

（５）　貯水槽の設置部分　１００分の１

（６）　宅配ボックスの設置部分　１００分の１

⑰　６欄の「ハ」、「ニ」、「ヘ」及び「ト」、９欄の「ハ」並びに10欄の「タ」は、百分率を用いてください。

⑱　ここに書き表せない事項で特に許可を受けようとする事項は、14欄又は別紙に記載して添えてください。

４．第三面関係

①　この書類は、建築物ごとに作成してください。

②　この書類に記載する事項のうち、５欄の事項については、別紙に明示して添付すれば記載する必要はありません。

③　１欄は、建築物の数が１のときは「１」と記入し、建築物の数が２以上のときは、建築物ごとに通し番号を付し、その番号を記入してください。

④　２欄は、該当するチェックボックスに「🗸」マークを入れてください。

⑤　５欄は、建築基準法施行規則別紙の表の用途の区分に従い対応する記号を記入した上で、用途をできるだけ具体的に書き、それぞれの用途に供する部分の床面積を記入してください。

⑥　ここに書き表せない事項で特に許可を受けようとする事項は、６欄又は別紙に記載して添えてください。

⑦　建築物が高床式住宅（豪雪地において積雪対策のため通常より床を高くした住宅をいう。）である場合には、床面積の算定において床下部分の面積を除くものとし、７欄に、高床式住宅である旨及び床下の部分の面積を記入してください。